

# 大雪に備えて

宗谷地方では、いよいよ本格的な冬を迎えました。統計によると12月から1月にかけて、雪が最も多く降っています。

大雪になると、通行止めをはじめとする交通機関や物流への影響、家屋等の倒壊、停電などライフラインに大きな影響があります。また、除雪作業中の事故、屋根からの落雪や雪下ろし時の転落など、人命に関わる災害が発生することがあります。

気象台では大雪による災害が予想される場合、“大雪特別警報”“大雪警報”“大雪注意報”を発表し、警戒や注意を呼びかけています。

大雪特別警報は、ある程度の広がりをもって50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合に発表します。宗谷地方の基準は下表のとおりです。

大雪による悪天が予想される場合には不要不急の外出を控え、悪天になる前に外出を済ませ、周辺の除雪を行うなど、大雪による災害から身を守ることが重要です。

また、大雪警報と暴風雪警報については、5日先までに警報が発表される可能性を[高][中]とランク分けした“警報級の可能性”を天気予報に合わせて発表していますので、外出の予定を組まれる際の参考にしてください。

50年に一度の積雪深と過去の最深積雪一覧 (2018年10月18日現在)

	地点名	50年に一度の積雪深 (cm)	過去の最深積雪(cm) および観測年月日	
宗谷 北部	稚内	160	199	1970年02月09日
	声問	-	95	2013年01月08日
	沼川	189	172	1985年02月24日
	豊富	157	143	1985年02月23日
	浜鬼志別	136	118	1998年02月05日
宗谷 南部	中頓別	238	197	2009年02月21日
	歌登	240	214	2018年03月04日
	北見枝幸	181	231	1958年03月03日

注①:値が“-”の地点は、データ不足のため、50年に一度の値が算出できないもの。

注②:50年に一度の値は過去の観測データから推定した値であり、一の位の大小まで厳密に評価する意味は無い。

お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

## 地域おこし協力隊通信

vol.37

こんにちは、地域おこし協力隊の吉原ゆりかです。あっという間に雪が積もり、すっかり真っ白の世界になりました。針葉樹林は、まるで北欧にいるんじゃないかと思ってしまうくらい、雪化粧が似合います。

去る10月13日に「富士元寿彦と行く野鳥撮影・観察ツアー」を開催しました。動物写真家であり幌延在住の富士元さんを撮影・観察の講師として、サロベツ・エコ・ネットワーク職員であり幌延在住の吉原さんを観察の講師としてお招きし、渡り鳥のいるスポットを巡りました。参加者は満員御礼の21名。半分は町民の方、もう半分は近隣町村からお越しいただきました。当日は天候に恵まれ、群れを成し頭上を羽ばたくオオヒシクイ・マガンや、タンチョウの親子、オジロワシの幼鳥を観察することができ、お喜びの声をたくさん頂戴しました。参加された方、講師のお二方、そして素敵な姿を見せてくれた鳥たちに感謝の気持ちでいっぱいです。冬は猛禽類（ワシやノスリなど）が観察できる時期ですが、個人的には雪の妖精シマエナガもぜひ見ていただきたいです。今後も、動植物の観察を通してサロベツ原野の魅力を伝え、来てよかった!と思ってもらえるツアーを開催していきたいと思っておりますので、ぜひ皆さまもご参加ください!



▲①野鳥を双眼鏡で観察する参加者



▲②野鳥観察舎で講話される富士元さん